

大学生と高校生が地域の課題解決に挑む！

SDGs × 甲南大学

Sustainable Development Goals

Konan University

「関西湾岸SDGsチャレンジ」始動！ 若いアイデアが「KANSAI」の未来をひらく

甲南大学は、神戸市、堺市、和歌山市、徳島市の4市と連携し、「関西湾岸SDGsチャレンジ」(主催：朝日新聞社メディアビジネス局 共催：甲南大学)を夏休みに実施します。甲南大学生と各地域の高校生、自治体が連携。将来に向けた課題の掘り起こしに挑戦。関西の未来をひらく取り組みに期待が高まっています。甲南大学の地域連携への思いと、プロジェクトの概要を紹介しましょう。



関西湾岸ネットワーク

甲南大学は神戸市、堺市、和歌山市、徳島市と連携し、「海でつながる」をキーワードに、地域の発展と活性化を図る「関西湾岸ネットワーク」を構築。高校生と大学生が課題解決を考える「関西湾岸SDGsチャレンジ」を今夏から実施するほか、さまざまな地域連携活動に取り組んでいます。



自治体の課題をSDGsで考え 持続可能なアイデアを提案

「SDGs」とは、国連加盟国が2030年までに取り組む、持続可能な開発目標のこと。地球に暮らすすべての人が平和と豊かさを享受できるように取り組むべき17の目標が掲げられている。このSDGsに関わる地域課題を、甲南大学の学生と、大学と包括連携協定を結ぶ神戸市、堺市、和歌山市、徳島市(締結予定)の高校生が共同で調査・研究するのが「関西湾岸SDGsチャレンジ」だ。

応募があった大学生と高校生の合同チームが8月にグループワークやフィールドワークで課題に挑み、9月に成果発表に臨む。異なる世代、異なる地域の学生、生徒が交流することで互いに刺激し合い、成長することが期待されている。メンター(助言者)として大学教員、朝日新聞記者が参加する。



新しい教育のあり方について話す福田義久副学長

稲田義久副学長は「それぞれの自治体の課題を『SDGs』で考えていきます。2030年以降に地球を支える若者たちに、バックカスティング(未来のある時点に目標を置き、そこから振り返って今すべきことを考える)の発想で、持続可能な仕組みを作るアイデアを出してほしい。本学は国際的な視野と地域の視点を併せ持ち、国内外で雄飛できる学生の育成に注力しています。関西湾岸SDGsチャレンジ

は、朝日新聞社とともに、学生、生徒の経験をさらに豊かにできるプロジェクトです」と力を込める。

このチャレンジを実施する背景には、大学と4市が連携した「関西湾岸ネットワークの構築」(※右上参照)がある。甲南大学は地域の課題に積極的に取り組む「プレミアム・プロジェクト」を展開しており、今回もその活動の一つ。大阪湾を囲むこの4市は、大学卒業生のつながりが元来強く、このエリアの発展のために意見交換や交流などが活発に行われている。

大学での学びを実践し 学生の主体性を育む場に

甲南大学は以前から地域連携教育に積極的だ。2011年に拠点となる地域連携センターを開設。地域の課題解決や活性化を目的に、学生が主体的に活動するプロジェクトの遂行、ボランティアを推奨してきた。

同センター所長で文学部の佐藤泰弘教授は「学生が地域に出て、自分たちで企画を考え、責任を持って活動することで主体性が育まれます。地域が大学での学びを実践する場になるとともに、学生は地域での経験を専門の学びにフィードバックすることもできます。卒業後に社会で活躍するには、地域での社会経験が生きてきます」と教育効果を話す。既に実施したプロジェクトには、実際に学生のアイデアが企業に採用されたり、ユニークな学生の発想に自治体の担当者が舌を巻くなど、高い成果を上げている。



学生による地域連携に意欲を見せる佐藤泰弘所長

今回の関西湾岸SDGsチャレンジもまさに地域連携教育。「学生や生徒はそれぞれの自治体が抱える課題を把握しながら、地域の持続可能性に自分たちで気づくことでしょ。課題の答えを出すことを目的とせず、長期的な視点で考えるプロセスを大事に取



甲南大学は各地の自治体と連携し、学びを深める

持続可能な社会の実現へ自治体に取り組むべき課題とは？

関西湾岸SDGsチャレンジ

朝日新聞社もサポート この夏スタート！

甲南大学の大学生と甲南高等学校(芦屋市)、堺、和歌山、徳島の市立高校の生徒が合同でチームを組み、グループワークからプロジェクトをスタート。夏休みにフィールドワークに挑戦し、課題について考え成果を発表し、社会に発信します。

step 1 グループワーク 8/5(日)

SDGsとテーマについて学ぶ

参加者全員が甲南大学に集合。大学生と高校生の合同チームを編成し、神戸市、堺市、和歌山市、徳島市の4地域の担当を決める。SDGsの内容を学び、朝日新聞記者もメンターとして加わり、各地域の課題をSDGsの視点で考えテーマを設定していく。



step 2 フィールドワーク 8/20(月)～24(金)

インタビューや視察で情報収集

それぞれのチームのテーマに応じ、各地に出かけてフィールドワークを実施。計画から実行まで、高校生と大学生が主体的に取り組む。例えば、企業や工場の視察、担当者へのインタビューなどを行う。活動は3日程度を予定。



step 3 SDGsチャレンジアカデミー 9/23(日・祝)

課題を分析し解決策を発表

フィールドワークで得た気づきを課題解決策としてまとめたり、アイデアを具現化・実用化したりする。甲南大学において発表する「SDGsチャレンジアカデミー」を開催。チームごとに成果を報告し、それぞれの発表に講評をつける。



step 4 成果を社会へ 12/23(日・祝)ほか

活動成果を広く発信

発表した内容を元に、社会に向けて広く発信。大学のウェブサイトやSNSも活用して活動内容を伝えることなどを通じて、正確に具体的な情報を発信する方法を学ぶ。関西湾岸SDGsチャレンジの取り組みは朝日新聞にも掲載。



©一般財団法人神戸観光局 写真提供：公益社団法人堺観光コンベンション協会、公益社団法人和歌山県観光連盟、徳島県一般財団法人徳島県観光協会

り組んでもらいたい。参加者の自主性を大切にしますので、楽しみながら活動してほしいですね」

取り組んだ成果はチームごとに発表し、大学のウェブサイトや新聞などを通じて社会に広く発信する。そして、昨年から実施し、今年も12月に開く「甲南大学リサーチフェスタ」への参加を予定。リサーチフェスタとは、高校生と甲南大学の大学生が文系・

理系を問わず、自由なテーマで研究・活動したことをポスターで発表する甲南大学のイベント。高校と大学の学びを一体的につなげる「高大接続改革」に合わせて企画された。大学生と高校生がともに学ぶ関西湾岸SDGsチャレンジは、これからの社会が必要とする力を身につけられる活動としても注目されうだ。

甲南大学 リサーチフェスタ

KONAN INFINITY COMMONS (iCommons)

甲南大学
岡本キャンパス
12月23日(日・祝)



大学生と高校生につながりが生まれる(写真は昨年)

KONAN UNIVERSITY OPEN CAMPUS 2018



PORT ISLAND

OKAMOTO

NISHINOMIYA



KONAN INFINITY

7/15 sun 10:00-16:00

8/5 sun 10:00-16:00

10/7 sun 12:00-16:00

岡本・西宮・ポートアイランド3キャンパス
同時開催(全日程共通)

オープンキャンパスの詳しい情報は 甲南Ch

検索

受験生向け情報サイト「甲南Ch」
http://ch.konan-u.ac.jp/



大学説明会
学部学科説明会
模擬講義・入試説明会
キャンパスツアー
入試対策講座
オープンラボ(体験実験)など
多彩なイベントを開催！
※スケジュールはWEBをチェック！

8/5 開催！！

関西湾岸SDGsチャレンジ グループワーク

実施場所：岡本キャンパス サイバーライブラリ(5号館3F) 10:30-17:00

甲南大学の大学生と教員、甲南高校の高校生、堺、和歌山、徳島の高校生、そして自治体関係者が、各地域の課題について熱い議論を展開！高校生と大学生が手を携え、関西の未来をひらく注目の取り組みを開催します。

岡本キャンパス

文学部/経済学部/法学部/経営学部
理工学部/知能情報学部
阪急「岡本」駅より徒歩約10分
JR「摂津本山」駅より徒歩約12分

西宮キャンパス

マネジメント創造学部
阪急「西宮北口」駅より徒歩約3分
JR「西宮」駅より徒歩約13分

ポートアイランドキャンパス

フロンティアサイエンス学部
神戸新交通ポートアイランド線(ポートライナー)
「京コンピュータ前」駅より徒歩約4分



甲南大学

お問い合わせ先

甲南大学アドミッションセンター
TEL:078-435-2319(直通)